

# キッズ・イングリッシュ・スクール2013開催



8月7日(水)～9日(金)の3日間、福祉会館で、キッズ・イングリッシュ・スクールを開催しました。市内の小学生50人が参加し、19人のALT(外国語補助教員)とゲームや歌を通して、楽しく英語を学びました。ALTが考案したオリジナル教材により、欧米やアフリカ、アジアなど各国出身のALTとの交流を通じて、英語を身近に感じるとともに国際理解を深めることができ、夏休みの良い思い出の一つとなりました。

## 《子供たちの感想》

- ・ゲームをしながら楽しく英語が覚えられて良かったです。先生が面白くて、また会いたいです。
- ・最初はむずかしくて、はずかしかったのですが、だんだん慣れてきてとても楽しかったです。来年も参加してみたいです。
- ・楽しく遊びながら学べたこと、たくさんの先生に出会えたことがよかったです。

## HEAD LINE

■ キッズイングリッシュスクール2013 開催 **1**

■ 国際姉妹都市グレイターラフィエット姉妹都市提携20周年記念特集と第2回国際姉妹都市グレイターラフィエット交換学生受入 **2**

■ 国際姉妹都市バーバンク市交換学生派遣 **3**

■ 太田日本語教室あゆみの会受講生「防犯教室」 **4**

■ 太田日本語教室あゆみの会受講生「バス研修」 **5**

■ フライデークラブが群馬県から表彰 **6**

■ 太田ユネスコ協会「英語キャンプ」 **6**

■ 太田ユネスコ協会「国際理解バス」 **6**

■ 太田日本語教室あゆみの会受講生「防災教室」 **7**

■ Friendship Information **7**

■ Voice to Voice **8**

# グレイターラファイエットとの姉妹都市交流が20年を迎えました



ラファイエット市役所

## グレイターラファイエットの紹介

アメリカ合衆国インディアナ州に属し、同州北西部に位置するラファイエット市・西ラファイエット市・ティピカヌー郡の2市1郡を総称して『グレイターラファイエット』と呼びます。シカゴからは南東125マイル、車だと約2時間半程度で、人口は約27万人（2市1郡の合計）、平均気温は、夏は23度、冬は-5.5度です。一帯はアメリカ北東部における近代工業都市の中心であり、1,000km以内に全米製造メーカーのトップ100社中、約20社が存在すると言われています。西ラファイエット市は、1869年に設立された全米屈指の総合工科大学であるパデュー大学の所在地でもあります。パデュー大学は2010年（平成22年）にクロスカップリングの研究でノーベル化学賞を受賞した根岸英一氏が特任教授を務め、同じく鈴木章北海道大学名誉教授が在籍したことで日本でも広く知られ、学生数は約4万人で、米国技術者の3人に1人は同大学出身だといわれています。



グレイターラファイエットとの交流は、1987年（昭和62年）3月に富士重工業（株）といすゞ自動車（株）がアメリカ合衆国インディアナ州西ラファイエット市に合併会社（SIA）を設立したことがきっかけに始まりました。翌1988年（昭和63年）に太田市、ラファイエット市両市長が互いに表敬訪問し、5年間の親善交流ののち、1993年（平成5年）10月、西ラファイエット市長、ティピカヌー郡長ら13人が太田市を訪問し、国際姉妹都市提携の協定書に調印しました。

パデュー大学



インディアナ州



グレイターラファイエット

## 交流の主な経緯

- |              |                               |
|--------------|-------------------------------|
| 1988年（昭和63年） | 太田市、ラファイエット市両市長が相互に表敬訪問、覚書き調印 |
| 1990年（平成2年）  | 交換教師受入派遣事業開始（～平成17年）          |
| 1993年（平成5年）  | 国際姉妹都市提携の協定書に調印               |
| 1998年（平成10年） | 英会話サマースクール市民派遣事業開始（～平成15年）    |
| 2003年（平成15年） | 交換学生派遣事業開始                    |
| 2012年（平成24年） | 交換学生受入事業開始                    |

以降、2013年（平成25年）までに太田市からは中高生ら99人を派遣し、グレイターラファイエットからは高校生ら9人を受入れました。

## 長年、グレイターラファイエットの姉妹都市委員会の委員としてご活躍いただいた Sally McIntire さんから20周年を迎えてのお祝いのご挨拶をいただきました

*I loved being involved with the Greater Lafayette--West Lafayette Sister City Committee. I joined after visiting Japan two times --the first as a TCAP exchange teacher to Fujisawa via Subaru and Isuzu Auto Companies; the second was to visit my daughter Wendy in Ota, an Assistant English Teacher on the JET Program. After visiting your beautiful country and meeting so many wonderful people, I wanted to promote good relationships with Japan--especially with adults and students from Ota. The Japanese people are so friendly and gracious, and showed many kindnesses to my family and me. I am very grateful.*

*I hope to re-join our local committee when my health improves.*

*Happy Anniversary and best wishes to you and everyone with the Ota International Association both present and past. I appreciate you all.*

ラファイエットの姉妹都市委員会に携わることができて、本当に幸せでした。実は、日本を2回訪問したことが、この委員会にかかわるきっかけとなりました。最初はスバルといすゞ自動車により藤沢市のTCAPの交換教師として招かれた時です。2回目は、太田でジェット・プログラムの英語補助教員をしている娘のウェンディを訪ねた時です。日本の美しい景色に触れ、またたくさんの素晴らしい人々に出会い、日本とよりよい関係を築きたいと思うようになりました。特に太田の人々です。日本の人々はとても親しみやすく親切で、私だけでなく家族にも優しくしてくれました。とても感謝しています。健康になったら、またラファイエットの姉妹都市委員会に関わっていきたくと思っています。姉妹都市交流20周年おめでとうございます。今まで太田市国際交流協会に携わった方々のご多幸をお祈りいたします。

皆様に感謝しております。

Sally McIntire

## グレイターラファイエットから 高校生がやってきました！！

昨年に引き続き、今年もグレイターラファイエットからは高校生が太田にやってきました。人数は高校生4人(男2、女2)引率者1人の計5人、7月11日(木)から19日(金)までの9日間を市内の一般家庭でホームステイしました。滞在中は清水市長を表敬訪問したほか、消防署や警察署など太田市内の施設や世界遺産でもある日光を見学しました。また、おた夏まつりにも参加し、みこし担ぎを体験したり、市立商業高校を訪問し、太田の高校生と交流を図ったりしました。

おた夏まつり参加



日本文化体験



日光東照宮



太田市立商業高校訪問

# 国際姉妹都市バーバンク市交換学生派遣



ホストファミリーの出迎え



バーバンク市長表敬訪問

## 国際姉妹都市バーバンク市に行ってきました！

太田市とアメリカ合衆国カリフォルニア州バーバンク市は、昭和59年2月14日に姉妹都市として提携しました。

15回目の派遣となる今回は、高校生6人、中学生6人、引率者2人の計14人が、7月23日(火)～8月6日(火)の間滞在しました。参加者は、現地の姉妹都市委員会や市民ボランティアの方々のご協力により、ホストファミリーとの生活、現地学生との交流、さまざまな施設や観光地の見学を通じて、アメリカの生活習慣や文化など日本では味わえない異文化体験をしました。



カリフォルニア大学見学



高齢者福祉施設でダンスを披露！



交流ピクニックでのゲーム



ディズニーランド



交流ピクニックランチ

### 《参加者の感想》

- ・バーバンク市での経験は、私の宝物です。現地の方々と話す機会もたくさんあって、いつもバーバンク市の学生と一緒に行動してくれたので、安心できたし、より交流が深まって楽しかったです。
- ・今までも、これからも何にも変えることのできない、かけがえのない2週間になりました。自分の未熟さや不甲斐なさを身に染みて感じ、もっと頑張っ、成長して、絶対にもう一度バーバンク市へ帰るとい夢ができました。
- ・毎日、毎日が新鮮だった。自分にとってプラスになった。英語をもっと勉強したいと思った。